

品番 NDN(H)66820S・NDN(H)66821S・NDN(H)66822S・NDN(H)66823S
NDN(H)96820S・NDN(H)96821S・NDN(H)96822S・NDN(H)96823S

・器具の取り付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

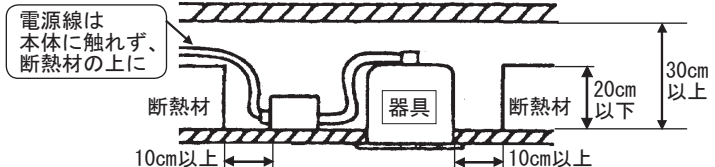
危険

●断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しない。
火災の原因となります。

・住宅の断熱施工天井には、
使用できません。

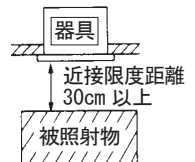


器具は、断熱材・防音材・造営材等と下図のような空間を設けて施工してください。



警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。
- 器具の改造および構成部品(LED、コネクタなど)の交換はしない。火災・感電・落下の原因となります。
- 器具の取り付け部以外の本体外郭が、天井内の造営物やダクト、電気配線等の設備に触れないように施工する。火災の原因となります。
- 水平天井埋込専用です。壁取り付けや天井直付け及び傾斜天井には取り付けない。火災・落下の原因となります。
- 必ず適合するLED電源ユニット(別売:適合品番はLED電源ユニット仕様欄参照)を使用する。火災・破損の原因となります。
- 器具と被照射物は30cm以上(近接限度距離)離す。近接限度距離内に被照射物が近づくおそれのある場所(ドア開閉範囲の上、家具の上、クローゼット・押入れの中等)では使用しない。過熱による火災の原因となります。
- 器具とコントローラおよび通信補助器はベースメーカーや医療電気機器から20cm以上離して使用する。通信電波を受けると、誤動作の原因となります。

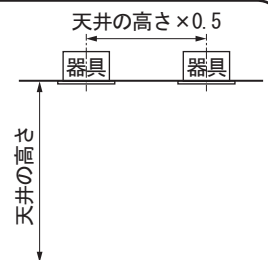


注意

- 一般屋内用器具です。直射日光の当たる場所、水気の多い場所、湿気の多い場所、腐食性のガスの発生する場所では使用しない。火災・感電・サビの原因となります。
- 軒下、屋側通路等の雨の吹き込みを受ける場所で使用しない。火災・感電・落下・サビの原因となります。
- 周囲温度は、5℃～35℃で使用する。指定外の周囲温度で使用する、火災または短寿命の原因となります。
- 振動のある場所では使用しない。火災・感電・落下・取付面のスキマおよび変形の原因となります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。

施工上のご注意

- 通電した状態でコネクタの抜き差しをしないでください。故障の原因となります。
- コネクタを接続していない状態で通電した場合には、電源遮断後10秒以上経過してからコネクタを接続してください。電源遮断後すぐにコネクタを接続すると故障の原因となります。
- 取付面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取り付けてください。サビや変色の原因となります。
- LEDにはバラツキがある為、同一商品でも商品ごとに発光色・明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 照射距離が近い時や照射面によって、光ムラが気になる場合があります。ご了承ください。
- 器具の設置について
PiPitハンディライコンを使用する場合は、下記の設置距離にご注意ください。
・器具の取り付け高さは7m以下でご使用ください。
・器具間は、必ず右図のように、「天井の高さ×0.5」以上あけて取り付けてください。
密集して取り付けると、器具を個別に操作できない場合があります。
- 調光する場合は、PiPit調光シリーズコントローラと組み合わせて使用する。適合外のコントローラとの組み合わせで使用すると火災の原因となります。
- この器具には920MHz帯特定小電力無線設備を内蔵しています。
- 920MHz帯特定小電力無線設備は、分解・改造すること、また認証ラベルを剥がしたりラベルのないものを使用することは法律で禁じられています。
- 920MHz帯特定小電力無線設備は、外国の電波法には適合していません。日本国内でのみ使用可能です。
- コントローラは調光する器具が見通せる場所に設置してください。
- コントローラは器具との見通し距離20m以内で、正しい向きで設置してください。
- 器具とコントローラおよび通信補助器は50cm以上離して施工してください。近すぎると動作しない場合があります。
- 内装変更で遮蔽物が介在するなど通信環境が変化した場合、正しい調光動作ができない場合がありますのでご注意ください。
- 当社適合コントローラとの組み合わせにより、光出力を約5%～100%に変化させることができます。
- 適合コントローラおよび通信補助器は、当社製品をご使用ください。使用方法、注意事項については、適合コントローラおよび通信補助器の承認図、取扱説明書、施工説明書をご確認ください。



適合コントローラ

- ・PiPit ハンディライコン (NK23041)
- ・PiPit ライコン (NQ23111)
- ・PiPit プラスセパレートセルコンAタイプ (NQ23171Z、NQ23185K)
- ・PiPit プラスライコンデマンド連動機能付 (NQ23151)
- ・PiPit プラスハンディライコン (NK23091)
- ・PiPit ライコンスケジュール機能付 (NQ23112)

※コントローラから器具が見通せない場合や、通信距離を延長したい場合は、通信補助器(NK23010、NK23071、NK23081)を設置してください。
※コントローラと器具の間に壁や柱等の障害物がある場合や、到達範囲内であっても器具がうまく動作しない場合は通信補助器を設置してください。尚、通信補助器はコントローラと器具が見通せる場所に設置してください。

(次ページへつづく)



施工上のご注意 (つづき)

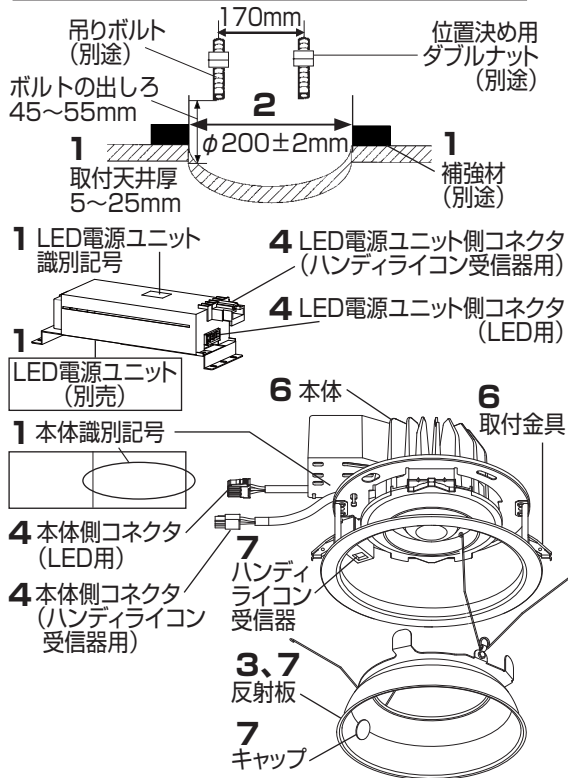
- 下記のような使用環境では、動作しないことがありますのでご注意ください。
 - ・天井材が金属製（メッシュ天井等も含む）や金属で補強された材料（鉄筋コンクリート等）でできている。
 - ・天井裏で器具の周囲が全て金属製の壁等で覆われている。
 - ・電源ユニットの無線通信用スリットが金属製の造営材やダクト、電気配線等に接触している。
 - ・コントロールと器具間に金属や一部に金属を含む材料（網入りやLow-E等のガラス材、鉄筋コンクリート等）でできた電波を通しにくい障壁がある。
 - ・コントロールと器具間にある壁面内や天井内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
 - ・コントロールの周辺が金属物で囲まれている。（スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど）
 - ・操作する人の体の向きで電波をさえぎっている。
 - ・コントロールの近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
 - ・コントロールの近く（10m以内）で、マイクロ波治療器を使用している。
 - ・近くに、テレビ・ラジオの送信所近辺の強電波地域または各種無線局がある。

各部のなまえと取り付け方

ロックウール等の柔らかい天井及び珪酸カルシウム板の天井に取りつける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材（鉄板・木片等）を入れてください。
補強材のない場合、器具ズレ・光モレの原因となります。



注意
器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する
けがのおそれがあります



これは一部簡略化した図です。

1. 取付前の確認をする

- ・器具質量（表1参照）に十分に耐えるよう取付金具または吊りボルト取付部の強度を確保する。（吊りボルトは、W3/8又はM10を使用する）
- ・不備がありますと器具落下の原因となります。
- ・本体識別記号とLED電源ユニット識別記号が一致する事を確認する。

<表1>

品番	器具質量(LED電源ユニット含む)
NDN6682~	約2.1kg
NDN9682~	約2.6kg

2. 天井にφ200±2mmの埋込穴をあける

- ・不備がありますと器具落下・天井と枠の隙間の原因となります。
- ※精度良く埋込穴をあけるのにダウンライトカッターをおすすめします。

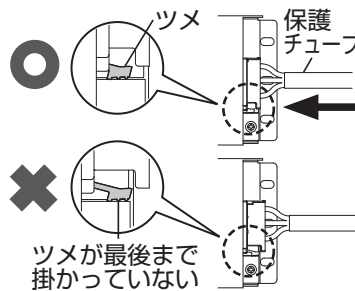
3. 反射板を取り外す

4. コネクタを接続する

- ・通電する前に、LED電源ユニット側と本体側のコネクタ（LED用・ハンディライコン受信器用）を下図のように確実に差し込む。
- ・通電した状態でコネクタの抜き差しをしないでください。
- ・故障の原因となります。（コネクタ接続前に通電すると安全機能が働き、その後差し込んでも点灯しません。一旦電源を切り、再投入してください。）

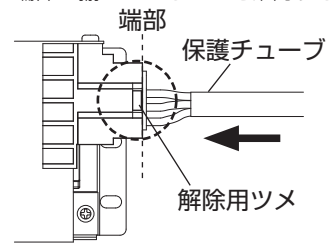
4 【LED用コネクタ】

- ・カチッと音がするまで確実に差し込む
- ・ツメが掛かっていることを確認する



【ハンディライコン受信器用コネクタ】

- ・確実に差し込む
- ・LED電源ユニット側コネクタの端部と本体側コネクタ解除用ツメの端部が揃っていることを確認する



5. LED電源ユニットに電源線、アース線、信号線を接続し、設置する。

- ・適合するLED電源ユニットにより異なります。
- 詳しくはLED電源ユニットの取扱説明書を参照ください。

6. 本体を取りつける

取付金具の場合

- ① 取付金具(2ヶ所)を本体上部へとどめておく。
- ② 取付金具を内側へ押さえながら、天井に挿入する。
- ③ 仮止め状態とする。
- ④ 取付金具を引き下げて、本体を確実に固定する。

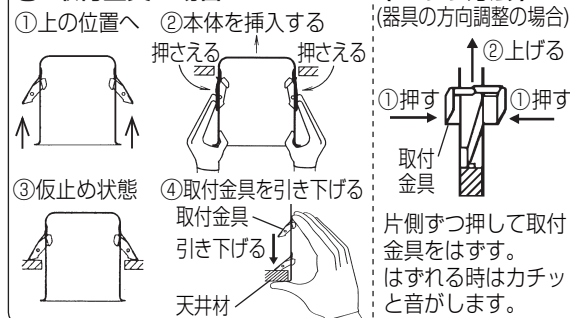
ボルト吊りの場合

- 本体変形防止のため、左図のように位置決め用Wナットを設置しWナット方式でゆるまないように取りつける。
（吊りボルトは、W3/8又はM10を使用する。）
不備がありますと落下の原因となります。

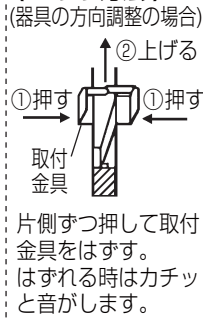
7. 反射板を取りつける

- ・取付バネをバネ受け部に合わせて押し縮め、反射板を水平に保ちながら静かに最後まで押し上げる。不備がありますと落下の原因となります。
- ・キャップがハンディライコン受信器の真下になる位置に合わせて取りつける。
- ・不備がありますとハンディライコンによる操作ができません。

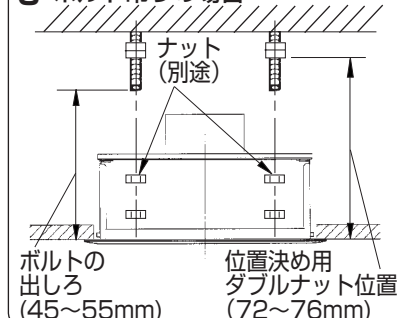
6 取付金具の場合



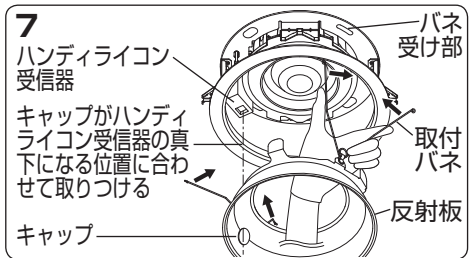
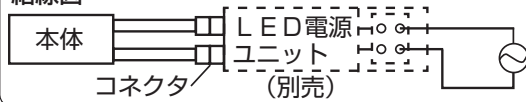
くはすす方法



6 ボルト吊りの場合



結線図

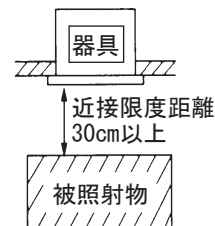


ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具の改造および構成部品（LED、コネクタなど）の交換はしない。火災・感電・落下の原因となります。
- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・工事店に相談する。火災・感電の原因となります。
- 器具と被照射物は30cm以上（近接限度距離）離す。近接限度距離内に被照射物、可燃物等（ドア開閉範囲、家具、布、紙等）を近づけない。過熱による火災の原因となります。



注意

- 器具の下に温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）や湿気を発生させる物を置かない。火災・感電の原因となります。
- LEDを直視しない。目の痛みの原因となることがあります。
- お手入れの際は必ず電源を切って行う。感電・やけどの原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年（※1）経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。 ※1：使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
 - ・LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
 - ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
 - ・3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

- LED照明器具の光源寿命（※2）は、60,000時間です。（照明器具の寿命とは、異なります。）
※2：光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の80%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

使用上のご注意

- LEDには光のバラツキがある為、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- LEDは交換できません。
- レンズ部に向けて殺虫剤を吹きかけないでください。レンズの汚れ、破損の原因となります。
- シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質・強度低下による破損の原因となります。
- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり正常に動作しない場合があります。
- ハンディライコンでの操作・設定は、操作・設定をしたい器具の真下でおこなってください。
- 器具とハンディライコンの間に遮蔽物が介在すると、ハンディライコンでの操作・設定ができません。
- 器具間が近く、密集している場合は、複数の器具が同時に操作・設定される場合があります。その場合は、器具の真下で、ハンディライコンを器具に近づけて操作をおこなってください。また、NK23091をご使用の場合は、NK23091に付属されている赤外線遮光カバーを使用して操作・設定をおこなってください。
- 器具の調光率を約5～100%に設定した場合、電源をOFFにしても調光率は保持され、次回点灯時には設定された調光率で点灯します。ただし、0%に設定した場合は保持されません。次回点灯時には前回設定した調光率で点灯します。
- コントローラと組み合わせて使用した場合、下記のような現象が発生することがありますが異常ではありません。
 - ・同一器具または同一品番で点灯および消灯時のフェードのしかたが異なる場合があります。
 - ・低い調光域では段調光のように動作する場合があります。
 - ・調光した状態でコントローラの点滅スイッチをすばやく操作した場合、100%点灯してから設定の調光状態になる場合があります。
- 光出力比（%）と目で感じる明るさ感には相違があります。
- 同時通訳機などの誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- 電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりする場合があります。
- バーコードリーダーの機種によっては、器具付近で使用した場合、読み取り感度が鈍くなることがあります。その場合は、器具との距離を離すか、器具の光を遮蔽するなどの対策を講じてください。

保証について

- 保証について
この商品の保証期間は1年間です。
消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

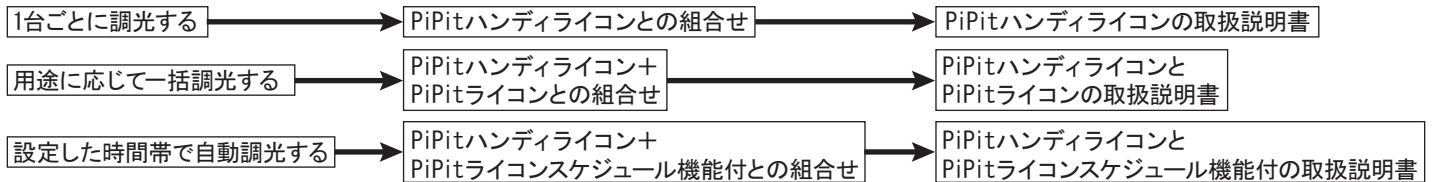
使用方法

●ご使用方法に応じて、以下の手順にしたがい設定してください。

使用方法

組合せコントローラ

確認する取扱説明書



お手入れ



注意

必ず電源を切って行ってください。
感電・やけどの原因となります。

<器具の清掃について>

・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損の原因となります。



■本体仕様

識別記号 G13	
550 形	
本体品番	光色
NDN(H)66820S	昼白色
NDN(H)66821S	白 色
NDN(H)66822S	温白色
NDN(H)66823S	電球色

識別記号 G16	
1000 形	
本体品番	光色
NDN(H)96820S	昼白色
NDN(H)96821S	白 色
NDN(H)96822S	温白色
NDN(H)96823S	電球色

■LED電源ユニット仕様

LED電源ユニット品番	組み合わせ本体	識別記号	定格電圧	周波数	消費電力	入力電流
NNK55004NRZ9	550形	G13	AC100V	50/60Hz	42.4W	0.43A
			AC200V			0.22A
			AC242V			0.18A
NNK99004NRZ9	1000形	G16	AC100V		79.8W	0.80A
			AC200V			0.40A
			AC242V			0.33A

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441 (フリーダイヤル) 【受付時間】月～土/9:00～18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460 (FAX) [Help desk for foreign residents in Japan Tokyo(03)3256-5444 Osaka(06)6645-8787 Open:9:00 - 17:30(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)] N0817-030622